

ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。

10月は、「ボランティア活動強調月間」です。

ボランティア活動推進富山県民会議（会長 犬島伸一郎）では、心豊かでふれあいのある地域社会づくりを進めるため、毎年10月を「ボランティア活動強調月間」として、「広げようボランティアの輪」をスローガンとし、この期間中にボランティア活動の普及と推進を図るための広報活動等を実施しています。

10月1日（金）富山駅前周辺にて県民会議関係者、一般ボランティア等が参加し街頭啓発活動を行いました。今回は、富山県ボランティア活動のマスコットマーク「ハーティ」が着ぐるみになって初登場し、活動に参加しました。

また、10月29日（金）30日（土）には富山県民ボランティア・NPO大会を開催しますので是非ご来場ください。着ぐるみ「ハーティ」も登場します。



平成22年度ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰受表彰者決定！

ボランティア活動推進富山県民会議では、ボランティア活動の普及推進に資することを目的として、様々な分野で多年にわたりボランティア活動の実践を通じ社会貢献をしている団体並びに個人の表彰を行っています。

今年度の受表彰者は、次のとおり、個人の部11名、団体の部11団体と決定いたしました。なお、表彰式は、10月29日（金）14時から開催の第22回富山県民ボランティア・NPO大会式典に併せて行われます。

<個人>

氏名	住所地	推薦者
沢田 みどり	黒部市	黒部市社会福祉協議会
森松 さち子	砺波市	砺波市社会福祉協議会
西元 多美子	砺波市	砺波市社会福祉協議会
山村 民子	南砺市	南砺市社会福祉協議会
吉田 千鶴子	南砺市	南砺市社会福祉協議会
福島 智賀子	上市町	上市町社会福祉協議会
稲谷 郁代	上市町	上市町社会福祉協議会
田中 照子	朝日町	朝日町社会福祉協議会
佐々木 洋子	射水市	ガールスカウト日本連盟富山県支部
西野 キヨ子	滑川市	ガールスカウト日本連盟富山県支部
長谷川 純代	南砺市	富山県ナチュラリスト協会

<団体>

団体名	所在地	推薦者
堀川南給食サービスボランティアグループ	富山市	富山市社会福祉協議会
琴美湖会	富山市	富山市社会福祉協議会
配食ボランティアはまぐりの会	魚津市	魚津市社会福祉協議会
ほほえみの会	魚津市	魚津市社会福祉協議会
寺家町健康ふれあいサロン	滑川市	滑川市社会福祉協議会
三日市地区ボランティア部会協議会	黒部市	黒部市社会福祉協議会
ねこの手	砺波市	砺波市社会福祉協議会
手話サークルかえでの会	小矢部市	小矢部市社会福祉協議会
きららグループ	射水市	射水市社会福祉協議会
不二越工業高等学校吹奏楽部	富山市	富山県私学振興会
とやまこども芸術活動支援協議会	射水市	富山県芸術文化協会

平成22年度NPO実務講座（マネジメント力向上講座）を開催しました！

8月5日（木）「第2回マネジメント力向上講座」を開催しました。日本損害保険協会の高橋保雄氏を講師にお招きし、「組織運営上のリスクとその対処～あなたの団体の危機管理は大丈夫ですか～」と題して、組織運営を行う上で必要なリスクマネジメントについて学びました。リスクマネジメントの基本的事項について説明いただくとともに、各組織のリスク対応度チェック、リスクカードを使ったリスクマネジメントの洗い出し方法など、各組織でどのようにリスクマネジメントを行っていけばよいかについて学びました。活動を行っていく上で、リスクと上手に付き合っていくことは大切なことです。あなたの団体でもリスクマネジメントについて考えてみてください。



9月10日（金）「第3回マネジメント力向上」を開催しました。日本財団の梅谷佳明氏から、「NPOのための資金調達と助成金申請のポイント」と題して、助成金を審査する立場から、助成金を出す際の留意すべき点などについて、分かりやすく説明いただきました。受講者からは、申請書の書き方が分かって良かった、申請を受ける立場の話が聞けて良かったなど、好評でした。

「災害救援ボランティア本部設置訓練」を実施しました。

9月4日（土）の県総合防災訓練実施に合わせて、支援センターでは県と県社会福祉協議会と連携して今年度も県災害救援ボランティア本部の設置訓練を行いました。今年は滑川市・舟橋村・上市町・立山町で災害が発生したとの想定に基づき、4市町村と県災害救援ボランティア本部との間で本部の立ち上げや情報伝達のシュミレーション等を行いました。（写真は、滑川市総合体育センターで行われた訓練の様子です。）



NPO基礎講座「NPOはじめての一步」を開催しました。

8月3日（火）に、NPOの基礎知識を学ぶことにより、NPO活動の普及啓発やより良いNPO団体の運営などにつなげることを目的として、「平成22年度NPO基礎講座」を開催しました。

まず、県男女参画・ボランティア課の老田主任から、NPOとは何か？NPOとボランティアの違いとは？など、NPOについての基礎知識について講義を受けた後、NPO法人Bamboo saves the earth理事長の渋谷秀樹さんから、団体の活動内容や始めたきっかけ、また様々な研修に参加したり、森林の会に加盟したことでネットワークづくりの機会が得られたということなどを話していただきました。参加者からは、NPOがどういうものか、かなりわかりました。渋谷さんの話がとっても楽しかった。やっぱり自分も活動したいと思いました、という意見がありました。



NPO法人設立講習会を開催しました。

9月2日（木）に「平成22年度NPO法人設立講習会」を開催しました。まず、県男女参画・ボランティア課の前川主事からNPO法人を実際に設立する際の手続きの流れや必要な書類について講義をした後、支援センター職員がNPO法人への支援制度について説明しました。

また、事例発表としてNPO法人親と教員の会こどものその理事長の柳美喜子さんに、活動をはじめのきっかけや、どうして法人化したのか、法人化してよかったことや苦労したことなどを話していただきました。



<助成金情報1> 日本たばこ産業株式会社では、JT青少年育成に関するNPO助成事業を行います。

- 応募資格
 - 1. 非営利法人であること
 - 2. 2010年9月30日時点で、法人として1年以上の活動実績を有すること
 - 3. 法人の設立目的や活動内容が、政治、宗教、思想などに偏っていないこと
- 対象事業 非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業
- 助成金額 1件あたり150万円を上限 総額40件程度
- 募集締切 11月20日（土）

～ NPO法人紹介 ～

新しくNPO法人となった団体や面白い取り組みをされている団体などを紹介するコーナーです。
まず、射水市の「NPO法人サポネット共働」の宮崎代表と松本副理事長にお聞きしました。

Q1 活動内容をお聞かせください。

高齢者や共働き家庭等に対して、病院への通院付き添いや買い物の補助、子どもの一時預かりなどの生活支援に関する事業を行っています。
また、高齢者の居場所提供としてサロン「ちょこっと」を開設し、交流の場としています。自由参加のサークル活動も企画しています。
これらの事業が、高齢者や共働き家庭を含む地域住民の家庭環境の改善や健康増進に役立つことを願って活動しています。



名称：NPO法人サポネット共働
事務所：射水市白石327
理事長：宮崎 昭子



Q2 法人設立のきっかけや名前の由来などをお聞かせください。

子育て中の職員から、「子どもの学校から、熱が出たと電話をもらい、家には誰もいないので困った。」「会議が長引き、子どものお迎えが気がかりだ。」「妻を育児のために退職させ後悔している。」こんな悩みを聞くにつけ、自分たちの若いころの苦労が思い出され、「何か役に立ちたい。手助けしたい。」の思いが募っていました。

また、親の通院の心配や引きこもりがちな高齢の親を抱え困っている共働き家庭が増えてきています。安心して仕事に専念できるよう支援したいとの思いから設立に至りました。

名前は、ネットワークを組んで共働きをサポートするといった意味を込め付けました。

Q3 法人になる際の苦労や現在の苦労、法人になって良かったことなどを、お聞かせ下さい。

法人になるまでの過程で、「法人格を取らないままで活動したらよい。」という意見もあり、会員の合意に至るまでには積んだり崩したり何度も話し合い、時間がかかりました。書類作成に関しては、会員に事務のわかる者もいましたが、県の男女参画・ボランティア課の方の指導を仰ぎ、何度も書き直しました。

良かった点は、NPO法人であることで地域に受け入れてもらいやすくなり、各種団体の一つとして地域振興会に加入できました。公的な場で意見を述べることもでき、射水市の設立助成金をもらうこともできました。その反面、責任は重くなったと思っています。また、県外に赴任している男性から「ホームページで知ったのだが、そちらに居る年若い親の通院の付き添いを頼みたい。」とNPO法人を信頼して依頼がありました。お手伝いできて本当によかったと思います。

課題としては、活動している仲間が高齢化していく中で、若い後継者を育てることです。



Q4 今後の目標をお聞かせください。

ここに事務所をもって1年経ちました。この地域には、サロン「ちょこっと」のような居場所提供の場がないので、地域に定着させていきたいし、独居老人や高齢者家庭が増加しているので、買い物、病院の付き添いや高齢者の安否確認など時代の要望に対処していきたい。加えて、NPO法人に対する理解度が低いので、活動しながら広報活動にも力を入れていきたいと思っています。

続いて、「NPO法人買物くらし応援団」の能崎理事長にお聞きしました。

Q1 活動内容をお聞かせください。

少子高齢化社会が現実化してくる今日、毎日の買物が負担と感じる1人住まいの高齢者、子育て中で日々の買い物ができない人々などに対して、買物を代行し、品物を自宅までお届けする事業を行っています。

定年後の方々が、毎日決まった作業を2～3時間行うことにより生活にリズムができるそんな仕事場にしていきたいと思ひます。

また、ボランティアすることで自分も世の中の人々の為になっている事を体験し、生きがいを感じられる仲間づくりの輪を広げたいと思ひています。そして、この活動を通じて、すみやすい街づくりに寄与したいと思ひています。

名称：NPO法人買物くらし応援団

事務所：高岡市大坪町3-7-31

理事長：能崎 博



Q2 法人設立のきっかけをお聞かせください。

スーパーの経営者の方々の集会で、「最近高齢者のお客が増えてきて、買物の帰りに持ち帰れないので、配達して欲しいとの希望が多くなってきている。しかし、現状では、車や人員の関係で配達には答えきれず、困っている。」という話を聞きました。また、近所のお年寄りから、近くのスーパーマーケットが閉店して困ったという声も聞きました。

そこで、スーパーマーケットで働いた経験を持つ者で、困っている方の買物を代行するボランティアグループを立ち上げ、そして、NPO法人へと移行しました。

Q3 法人になる際の苦労や現在の苦労、法人になって良かったことなどを、お聞かせ下さい。

NPO法人を立ち上げる際、机や電話、車など不足している物が多く、銀行からお金を借りる必要がありましたが、保証人とかで苦労しました。

現在の苦労は、配達等を行ってもらうボランティアの方々は、就職が決まるまでの腰掛けの人々が多く、人員の確保にはいつも苦労しています。

NPO法人になって良かった点は、マスコミの方（新聞社、テレビ局、雑誌者）の取材が相次ぎ、取り上げてくださったので、広くPRができ、多くの人に知ってもらえるという効果があったと思ひます。その報道を見て、自分もこんな活動してみたいと訪ねてくる人も増えています。

一般の人々には、NPO法人の方がボランティアグループより信用がある団体と認識されていると思ひます。また、助成金の審査が通りやすかった面もあると思ひます。



Q4 今後の目標をお聞かせください。

買物くらし応援団を高岡市だけでなく、全国津々浦々に普及し、困っている人々を助け、皆が楽しく生きていけるように普及に力を注ぎたいと思ひます。

また、今の組織を早く認定NPO法人にして、活動資金に困らないような強固なものにしたいと思ひています。

第22回富山県民ボランティア・NPO大会

日時 平成22年10月29日(金) 13:00~17:00 (式典は14:00開始)
10月30日(土) 10:00~16:00

場所 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)

第1日 10/29(金) ※式典、講演会に参加するには、事前の申込みが必要です。

＜式典＞ 14:00~14:45

表彰式(ボランティア活動に貢献された個人・団体の表彰)、大会アピールの採択

＜講演会＞ 15:00~16:30

テーマ:「100人村」が問いかけるもの

講師:池田香代子氏(作家・翻訳家)「世界がもし100人の村だったら」の再話を手がけた作家

第2日 10/30(土)

＜活動発表(ステージ発表)＞ 10:00~15:00

○きらびか☆スポーツクラブ(富山市)

○きぐるみ「ハーティ」登場! 友情出演 里ノ助くん(富山市ファミリーパーク)

きときと君(スポレクとやま2010)

○スコッパーズ(射水市) ○リンベルの会(高岡市) ○社団法人富山県児童クラブ連合会(富山市)

＜スタンプラリー＞ 10:00~16:00

館内をまわってハーティシールを集めよう。先着300名様に大会グッズを進呈します。

2日間共通 10/29(金)・10/30(土)

＜ワークショップ＞(ボランティア団体やNPO等主催の催し物)

体験会、研修会、報告会やがんばっている学生主催の
ディスカッションや交流会があります。

＜作品展示・販売/活動紹介パネル展示＞

各団体の活動紹介を見ながらお買物できます。

(2日間のうち一部出展団体が入れ替わります。)

＜ボランティア「一言メッセージ」掲示・投票＞

みなさんから応募のあったメッセージを掲示して、来場の方に投票してもらいます。

＜収集ボランティアコーナー・ペットボトルキャップ収集＞

ペットボトルキャップ800個で一人分のポリオワクチンになります。

(キャップは洗って持ってきてください。また、シールははがして持ってきてください。)



今回は大会1日目にも
「ワークショップ」や
「作品展示・販売等」が
あるよ!

＜富山県男女参画・ボランティア課からのお知らせ＞

「NPOサポートセンター」を開設しました!

富山県では、県内NPOの広報力・情報発信力の強化を支援するため、富山県「がんばるNPO」情報発信応援事業(富山県委託事業)として、この度「NPOサポートセンター」を開設しました(受託団体:NPO法人富山観光創造会議)。

場所: 富山市堤町通り1-3-7 まちの駅ビル4階

連絡先: NPOサポートセンター<NPO法人富山観光創造会議>

TEL: 070-5630-6082 E-Mail: info@npotoyama.com URL: http://www.npotoyama.com/

開館時間: 10:00~18:30 (日曜・祝日は休館)

業務内容: ①NPO情報発信に関する各種相談等 ②「NPOのためのパソコン活用講座」の開催

③「NPO情報発信に関するセミナー」の開催 ④「とやまNPO探検隊」の開催

※詳しい内容については下記HPにてご確認ください。

http://www.npotoyama.com/ (NPOサポートセンター<NPO法人富山観光創造会議> HP)

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1712/ (県男女参画・ボランティア課 HP)

[問合せ先] 富山県男女参画・ボランティア課 ボランティア係 (TEL: 076-444-9012)

NPOサポートセンター<NPO法人富山観光創造会議>

(TEL: 070-5630-6082 E-Mail: info@npotoyama.com)

講習会・相談会・助成金等情報

第6回NPO法人会計・税務事務相談会

NPO法人の会計・税務事務の個別相談会です。事前に申込が必要です。(相談時間は1時間程度)

日時：11月11日(木) 13:30~16:30

場所：富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 3階 交流会議室

講師：北陸税理士所属の税理士 相談料：無料

*今後の相談会予定 [富山会場] 12月8日(水)・1月12日(水) [砺波会場] 1月13日(木)

NPO法人労務管理基礎講座

労働保険・社会保険の手続きや労務管理についての講座です。事前に申込が必要です。

日時：12月2日(木) 13:30~16:30

場所：富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 5階 501号室

定員：20名(先着順) 受講料：500円 講師：社会保険労務士 森澤 光雄氏

第2回NPO会計税務基礎講座(実務者編)

1月下旬に実務者向けの講座を予定しています。

詳細につきましては後日支援センターのHPやチラシ等でお知らせしますので、是非ご覧ください。

内容(予定)：NPO法人の決算時の会計税務事務

1月21日(金)・1月25日(火)・1月28日(金)(2時間×3回の連続講座)

NPO法人設立ミニ講座&相談会

NPO法人の立ち上げなどについて、質問・相談の時間をたっぷり取った、少人数での講座を開催します。

日時 10月8日(金)、12月14日(火)、1月14日(金)、2月15日(火)

※全て13:30~15:00、同じ内容です

場所 富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 7階 701号室

定員：10名(先着順)

内容 1 NPO法人の設立や認証手続きについて

受講料：無料

2 NPO法人の設立について質疑応答や相談など

NPO実務講座(第4回マネジメント力向上講座)「NPOのためのコミュニティ・ビジネス入門~地域貢献と組織の自立を目指して~」

コミュニティビジネスの手法を活用した地域活性化、組織運営の方策などについて学びたいと思います。コミュニティビジネスの基礎を学びたい方は、是非参加ください。永沢先生との懇親会も予定しております。

日時：11月26日(金) 13:30~16:30

定員：40名(先着順)

場所：富山県総合福祉会館(サンシップ) 6階601号室

受講料：無料

講師：NPOコミュニティビジネスサポートセンター 代表 永沢 映氏

<助成金情報2> セブニーレブン記念財団では、2011年度公募助成を行います。

<環境市民活動助成>

1 活動助成

環境市民活動に直接的に必要な経費を支援

2 自立事業助成

助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を安定的に確保できる事業を構築し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援

3 広域連携促進助成

同一テーマのもと、複数の団体による広域なネットワークで、地域の市民活動の効果を高めるプロジェクトを支援

<地域美化活動助成>

1 緑化植花活動助成

公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し、継続して行っている苗木や花を植える活動

2 地域清掃活動助成

公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し、継続して行っている清掃活動

募集締切 10月1日(金)~11月30日(火) 詳しくは <http://www.7midori.org/> をご覧ください。

お問い合わせ先

富山県民ボランティア総合支援センター

〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合福祉会館内

TEL 076-432-2987 fax076-432-2988

URL <http://www.toyamav.net/>

E-Mail info@toyamav.net